

JAWIC

Seattle News

ウェアハウザー社、14万エーカーの社有林を売却へ

ウェアハウザー社は、8月13日、オレゴン州南西部に保有する14万エーカー（約5万6000ha）の森林をキャンベルグループに売却することで合意に達した。第3四半期に正式に取引が成立する予定。譲渡金額は約3億ドルと伝えられている。フルトン社長は北西部ではダグラスファーが経営上の優先樹種であり、当該森林はヘムロックやスプルース主体であるため戦略的に重要でないためとコメントしているが、キャッシュフローの改善と債務返済を狙ったものと考えられる。ワシントン州南西部の8.2万エーカー（約3.3万ha）についても売却の用意があると発表している。同社は2008年末現在、北西部と南部を合わせて約240万haを有する全国第2位の森林保有企業である。第1位は不動産投資信託（REIT）になったプラムクリーク社。

キャンベルグループは林地投資経営組織（Timber Investment Management Organization: TIMO）として急成長してきており、全国に約115万haを所有し、投資家へのリターンを中期的な高リターンをめざして林地の取得、経営および売却を手がけている。なお、2008年末現在、森林所有番付上位10社のうちの7社がTIMOである(表)。

表：森林所有番付2008年（単位1万ha）

企業	面積
プラムクリークティンバー	296
ウェアハウザー	240
ハンコックティンバーリソース	200
リソースマネジメントサービス	140
キャンベルグループ	115
レイオニア	89
フォレストランドグループ	84
フォレストキャピタルパートナーズ	84
ワグナーフォレストマネジメント	80
フォレストインベストメントアソシエーツ	76

資料：各社レポートなど、一部は推定。

注：青字はREIT、赤字はTIMO